

フットサル指導 B級取得

北杜のコーチが県内初

北杜市のサッカークラブ「ヴァンフォーレ八ヶ岳」代表の田畑雅弘さん(51)＝同市小淵沢町上笹尾＝は、日本サッカー協会(JFA)が認定するフットサル指導者「B級コーチ」のライセンスを取得した。同協会が認定するライセンスとしては最高位で、C級指導者の育成、指導もできる。県内で取得したのは田畑さんが初めて。

50代「挑戦する姿見せる」



峡北申斐
 宇賀神将樹 駒田 明大
 (0551)22-0138.0158
 FAX 22-8162

JFAによると、フットサルの正しい知識を持った指導者を育成するため、2008年にC級、2011年にB級のライセンス制度を設けた。田畑さんは4年前にC級を取得していた。

田畑さんは1月と3月の2回、神奈川県箱根町で、JFA主催の試験を受けた。C級コーチのライセンスの取得者で、各都道府県のサッカー協会から推薦を受けた人たちが集まった。選手とのコミュニケーションの仕方や実技を通して戦術、理論を学ぶ講習の後、トレーニングメニューを立案するなどの記述テストを受け、田畑さんら19人が合格した。

田畑さんはサッカーとフットサルの両方を指導する北杜市小淵沢町のスポーツ少年団の監督を務めた後、2005年にNPO法人「八ヶ岳北杜グラウンデッドボールクラブ」を立ち上げた。子どもたちにフットサルを教える田畑雅弘さん

「B」を発足した。その後、プロ選手を育成するため、ヴァンフォーレ甲府と業務提携を始め、チームの名前を「ヴァンフォーレ八ヶ岳」に変更した。JFAによると、田畑さんはB級の取得者の中では、全国で2番目に高齢という。田畑さんは「50代になっても何かに挑戦する姿を教える子に見せたかった。今後は指導者の育成に力を入れ、県内のフットサルのレベルの底上げを図りたい」と話している。

地元農家と一緒に 児童が田植え体験

北杜・明野小

北杜・明野小の児童は10日、同市明野町上手の田んぼで田植え体験をした。写真。

5年生46人が、約500本の田んぼに、もち米の品種「マン



ゲツモチ」の苗を植えた。児童は素足で田んぼに入り、丁寧に植えていった。

清水聖菜ちゃん(10)は「泥の感触が気持ちよかった。田植えの作業は慣れてくると簡単に行けるようになった」と感想。伊藤大翔くん(10)は「収

穫が楽しみ」と話していた。

同校は地元農家らでつくる永井集落協定組合と連携し、田植えや収穫など一連の作業を体験しながら、コマ作りに取り組んでいる。今年で10回目。

峡中
 和真 一真
 市川 坂本
 (055)280-3230
 FAX 280-3231

